

公益財団法人みやぎ産業振興機構に対する経営評価委員会意見

項 目	意 見	対 象
<p>安定的な財務基盤の確立について</p>	<p>平成 25 年度決算は経常損益がプラスに転じているが、投資有価証券評価損益の影響が大きく、安定的な財務基盤に起因した結果とは言えない。団体が策定した「経営計画 2014」にもあるとおり、財務改善は重要な課題であり、収支均衡と財務基盤の安定化に引き続き取り組むこと。</p>	<p>団体</p>
<p>今後の事業展開について</p>	<p>支援企業に対しては、支援終了後の事業活動に対するフォローにも目を向け、団体の持つノウハウを最大限活用した支援を行うこと。特に、被災中小企業に対する支援は、団体に期待するところが多いことから、施設・設備整備資金の融資にとどまらない長期的な視野に立った支援を行うこと。</p> <p>他の中小企業支援機関と連携を図りながら効果的な支援を行うとともに、団体ならではの支援対象や支援体制を検討するなど、他機関との差別化を図ること。</p>	<p>団体</p>
<p>事業成果の発信について</p>	<p>現状では、団体の支援による、例えば売上増加といった支援企業の具体的な事業成果が見えにくいことから、目標設定や成果の把握方法を工夫し、成果の情報発信にも積極的に取り組むこと。</p>	<p>団体</p>